

兵庫県委託事業

NIRO ものづくり支援センター

＜生産性向上支援＞



将来に渡って深刻な生産年齢人口の減少や昨今の原材料価格高騰など経営リスクの対応にお困りの中小企業に対し「NIROものづくり支援センター」は県内企業の生産性向上の取り組みを伴走支援します。

申込みのち、経験豊富な支援スタッフが企業と共に現地現物での現状分析を行い、それを基に作業環境改善や改善職場作り、人材育成、工程改善や工程改革、DX化やAI・ロボット化などの解決策を共に見出し、その解決に向けた企業の主体的な取り組みの推進を伴走型で支援します。

そして、その結果得られる人・モノ・カネの経営余力を待遇改善や事業発展、更に新事業展開に生かして頂くなど明るい未来の実現と働く皆さんの笑顔を共に目指します。

■支援対象

兵庫県内に本社または事業所がある、ものづくり／サービス企業
生産性向上の取り組みに対し、高い意欲を有すること

■支援費用

無料（支援の中で必要となる購入品は除く）

■支援期間・回数

生産性向上の成果が定着するまで、**期間、回数の制限なく支援**

■支援の方法

経験豊富な**支援スタッフ**が適材適所、現地現物で**伴走支援**

■申込み方法

NIROものづくり支援センターにお気軽に問合せ下さい（最終ページに案内）
決断されましたら、センターに支援申込書を提出ください

生産性向上の取り組み（5つの領域）

①作業環境の改善

安全・安心・働きやすい
作業環境作り
5S、5定活動

②改善職場づくり

自主的にムリ・ムダ・ムラなど問題を見つける
改善する職場風土醸成

③プロセス改革

工程短縮、物流改革、
在庫低減、納期短縮、
レイアウト改善

④間接業務改革

受発注・生産管理・
設計開発・事務業務
デジタル活用・効率化

⑤自動化・IoT

加工方法開発、
賢い自動化・省人化
可動の見える化改善

<こんな課題をお持ちではありませんか?>

ものづくり/サービスにはいろんな課題があります。
当センターは、そのひとつひとつの解決に向けてお手伝いします。



現場は物であふれ、作業しやすい
とは言えないし、ムダも多い…
また、ケガをしないか心配…



不良品がなくならない
納期遅れもたまにあり、顧客に
迷惑を掛けているしなあ…



増産を迫られている。
スペース、人手、投資を掛けない
いい方法はないかな？

手間のかかる手書き作業を減らし
現場やオフィスの仕事をもっと
見えるようにできないかな？

自動化を進めたいが、果たして
採算が取れるかな？
それに品質や能力も不安だし…

災害リスクやムリ・ムダ・ムラを
一緒に見つけ、減らし、なくして
働きやすい環境づくりと人づくり
を共に目指しましょう！

作業分析と改善を繰り返し、
Q:品質・C:コスト・D:量・納期
に強い現場と
シンプル・スリム・フレキシブル
な工程を作りましょう！



きめ細かい作業分析・手順分析を
基に**デジタル技術**の活用を通じ、
かかる時間と量を大幅に**スリム**に
しましょう！

まず、現状をシンプルスリムにしたうえで
ロボットや**デジタル**に強い技術者がお手伝いし
「賢い」自動化システムを実現しましょう！

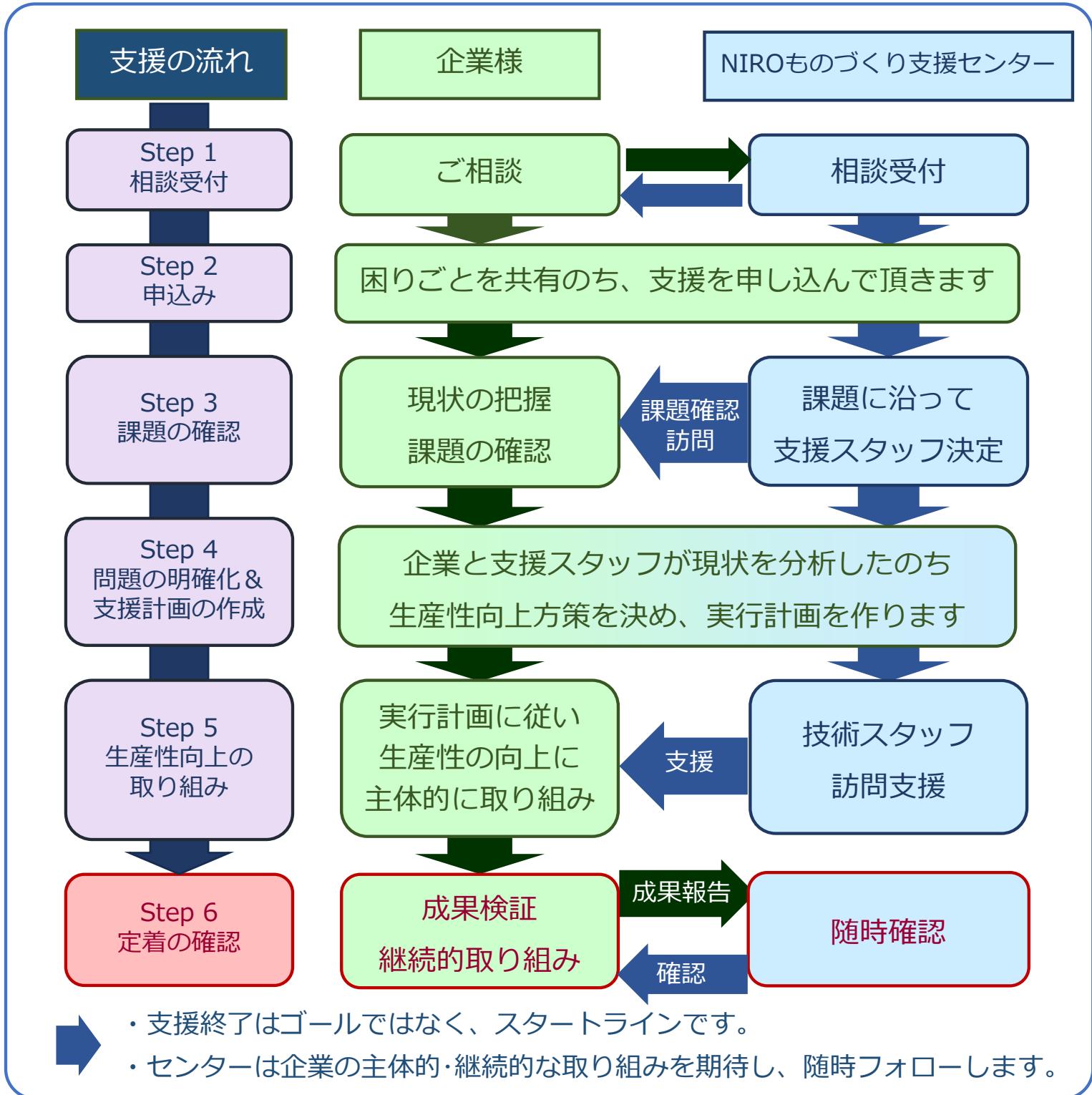
<生産性向上の支援内容 5つの領域>

	課題のありか	目的	方法・支援内容
先進・高度 付加価値あり 付加価値なし ムリムダムラ 風土・基盤	⑤自動化・I o T	・画期的な省人化・省力化 ・工法・加工技術の開発改良 ・リアルタイム管理	・A I /ロボット/センサー/カメラなどメカトロ技術を活用 ・システムインテグレーション ・情報ネットワーク技術によりリアルタイム化とアクション
	④間接業務改革	・受発注・生産管理・設計開発 事務・技術・計画業務効率化 とリードタイム短縮	・アナログな作業をデジタル化（D X）一気通貫・一括処理 ・P O S、R P A、クラウドなどITの活用 ・CAD/CAMなどデジタルエンジニアリング技術の活用
	③プロセス改革	・コスト原単位に基づいた改革 ・工程短縮・共通化、在庫低減 ・レイアウト・物流・動線改革	・ヒト・モノ・情報の流れを把握&分析、減らす/止める/共通化 ・作業手順・工数・在庫量・仕掛けタイミングを明らかにし ・シンプル・スリム・スピーディ・フレキシブルに
	②改善職場づくり	・作業者の声をもとに自発的に 改善の進む職場文化・風土	・ムリ/ムダ/ムラ、やりにくい作業、守りにくいルールの改善 ・全員参加・現地現物・チームワーク・改善マインドの醸成
	①作業環境の整備	・安全・安心・健康な作業環境 ・正常・異常がすぐわかる ・ムリ・ムダ・ムラを目立たせる	・5 S(3 S) 必要な物は近く、分かるように、不要物は整理 ・災害・疾病リスクアセスメントで、より良い作業環境作り

⇒センターは、企業それぞれの課題の領域に応じ、
共に方策を考え、支援します

<支援の流れ>

～相談・申込み後、課題に沿って支援スタッフが伴走支援～



<支援スタッフ>

～適材適所 経験豊富なスタッフが企業に寄り添って支援～

約100人のコーディネーターは全員が豊富な経験を持っています。

ロボット、自動車、電機、食品、情報システム、サービスなど多様な分野で
製品開発・設計・生産技術・品質管理・工場管理・人材育成・企業指導に携わった
経験豊富な技術者が、企業の生産性向上を伴走支援します。



« 解説 » 生産性とは?

- * 労働生産性
- * 設備生産性
- * 材料生産性など

$$\text{生産性} = \frac{\text{産出量(売上げ)}}{\text{投入量(コスト)}}$$

生産性とは、投入量（コスト）に対する産出量（売上げ）の割合です。

売上げは市場で決まります。

コストは現場の工程（プロセス）の良しあしで決まります。

生産性向上とは、良い商品やサービスを、より良い工程でより安く、早く、うまく作り、コストの比率を下げることです。（作業/加工方法・設備・工程・レイアウト・生産計画…）

<企業支援機関との連携>

～NIROの多様な支援ネットワークと連携し支援～

- ・兵庫県 産業労働部 地域産業立地課・兵庫県立工業技術センター・兵庫県立大学
- ・ひょうご産業活性化センター・中小企業支援ネットひょうご・兵庫県よろず支援拠点
- ・兵庫県商工会議所連合会・兵庫県商工会連合会
- ・近畿高エネルギー加工技術研究所（AMPI）・ひょうご科学技術協会
- ・ロボットシステムインテグレーション協会
- ・銀行/信用金庫/信用組合など金融機関
- ・近畿経済産業局・中小機構・神戸市経済観光局工業課 など

問い合わせ先

まずは、お気軽に
ご相談ください。

NIRO ものづくり支援センター (生産性向上推進部)

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6丁目1番地
(神戸商工会議所4F)

TEL : 078-306-6806
e-mail : smart-m@niro.or.jp
URL : <https://www.niro.or.jp/>

担当：畠中まで

